

事業番号	10 02 04	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	林業基盤整備事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課	
		実施期間	S39 ~	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		3-8 生活を支える地域交通の確保			

1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	【現状】 ○多くの森林が利用可能な齢級となっているものの、生産コストが割高となっていることなどにより、木材利用が一部にとどまっている。よって低コスト生産による安定的な木材供給が望まれる。 ○小規模な森林所有者が多く、集約的施策が困難。 ○低コスト生産、安定的な供給を支える高性能林業機械の導入数及び林内路網の整備量が少ない。
	【目指す姿】 ○県産材の効率的、安定的な供給、充実した森林資源の有効活用を図るため、森林の集約化と高性能林業機械の導入や基盤となる林内路網を一体的に整備し、地域を支え、持続的に発展する競争力の高い林業・木材産業の構築を目指す。
	【実施内容】 ・林業事業者が行う高性能林業機械の導入への補助 ・森林税を活用し、里山の小規模所有者等の森林整備を進めるために必要な施業同意等の整備を支援 ・森林整備や間伐材の搬出を行うための作業道開設等に対する補助

指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度 目標値	達成 状況
1	里山の集約化	ha	263	333	↗	247	↘	450	未達成
2	林内路網密度	m/ha	21.1	21.4	↗	21.7	↗	21.4	達成
3									
4									
5									

区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
事業 コスト	前年度繰越額	573,409	734,500	717,179
	当初予算額	1,034,855	976,472	985,874
	補正予算額	6,131	49,406	-41,774
	合計(A)	1,614,395	1,760,378	1,661,279
	うち一般財源	59,690	41,629	81,799
	決算額(B)	1,104,773	1,038,883	975,571
職員数(人)		34.3	34.5	49.0

成果指標 及び目標値 の設定理由	1. 効率的な県産材の供給を図るため里山の集約化の進捗状況を指標に設定(基本方針を基に設定) 2. 林道・林業専用道、森林作業道等による効率的な木材生産を推進するため指標に設定(森林づくり指針を基に設定)
達成状況 の分析	1. 里山の集約化のために行う地区懇談会等の一部が新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなくなり、同意取得が進まなかった。 2. 作業道を中心に目標値を上回って林内路網整備が進んだ。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 里山の森林整備の集約化を促進 <ul style="list-style-type: none"> ・森林税を活用し、里山の小規模所有者等の森林整備を進めるために必要な施業同意や境界明確化等を支援 ○ 高性能林業機械の導入の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・木材の素材生産の効率化と作業の安全性を高め、林業就業者の確保・定着を図るため、高性能林業機械の導入を支援 ○ 県産材を効率的安定的に供給する基盤となる林内路網の整備を促進 <ul style="list-style-type: none"> ・県産材を効率的かつ安定的に木材市場や製材工場に供給できる林道や作業道を整備
------	--



高性能林業機械



林内路網整備

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の小規模個人有林等の整備を効率的に進めるためには、施業を集約化するための条件整備が不可欠となっている。 ・作業の効率化及び安全性の観点から高性能林業機械の需要が高まっており、事業に対する要望も多くなっている。 ・主伐、再造林時代の到来や林業機械・トラック等の大型化を踏まえ、基幹的な路網の必要性が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備等を実施するための施業同意の取得に取り組む主体を支援し、里山の森林整備の集約化を促進。 ・事業計画内容から事業の優先順位を決定し、効果的な高性能林業機械の導入の促進を図る。 ・林内作業道だけでなく、県産材を効率的安定的に供給する基盤となる林内路網の整備を促進。

事業名	林業基盤整備事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
-----	----------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	林業基盤整備事業	187,160 千円	77,201 千円	77,522 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	高性能林業機械導入推進事業	補助金	・林業事業者が行う高性能林業機械の導入(リース含む)への補助 【高性能林業機械(フォワーダ等)補助台数:10台】 ・林業事業者を対象とした、高性能林業機械のオペレーター養成研修の開催	
2	地域で進める里山集約化事業	交付金	森林税を活用し、里山の小規模所有者等の森林整備を進めるために必要な施業同意等の整備を支援 【集約化面積:247ha】	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	林道整備事業	917,613 千円	961,682 千円	898,049 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	特定林道維持管理事業費	補助金	特定林道に対する財政支援を行い適切な維持管理と通行の安全を図る。 【1路線、22.8kmの維持管理】	
2	森林整備に直結する作業道整備事業	補助金	森林整備や間伐材の搬出を行うための作業道開設等に対する補助 【15路線を整備】	
3	公共林道事業	直接補助金	・県営事業による林道の開設 【開設6箇所】 ・市町村が行う林道の開設、改良、舗装等事業に対する補助 【開設5箇所、改良25箇所、舗装4箇所、橋梁補修等6箇所】	
4	県単林道改良事業	補助金	地域の重要路線であり、一般者の入込みの多い特定林道の機能回復を図るための工事に係る助成 【南アルプス線、奈川安曇線の2箇所を実施】	